

カキ 柿

カキノキ科

参考文献

一般社団法人果種協・国立研究開発法人農研機構・国立研究開発法人JIRCAS(監修)(2017),
図説果物の大図鑑, 株式会社マイナビ出版
特集2柿, 農林水産省HP, 農林水産省, 2021年10月30日閲覧,
https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1810/pdf/1810_05.pdf 他

○多摩青果の主な入荷情報

	色の基準 少 多											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産地												
山形												
新潟												
岐阜												
愛知												
奈良												
和歌山												
愛媛												
福岡												
熊本												

○月別情報

- 7～8月：奈良・和歌山からハウス栽培の「刀根^{とねわせ}早生」が入荷
9月：「西村^{にしむらわせ}早生」「中谷^{なかにわせ}早生」から露地栽培の入荷開始
10～11月：山形・新潟・岐阜・愛知・福岡など全産地出揃う
12月：「富有^{ふゆう}」「富士」など晩生種を中心に入荷
12～2月：冷蔵貯蔵の「富有」が入荷

○柿の渋抜き「脱渋」

水溶性の渋味「タンニン」を、「エタノール」と反応させ
不溶性にすることで脱渋でき、果肉内にゴマ（黒斑）となって残る。
生産地では、炭酸ガスを充満させた密閉空間に柿を入れ、窒息状態
にした際に柿自らが生成するエタノールで、脱渋する方法が主流。

○柿の選び方と保存方法

選び方	色むらや実とヘタの間に隙間がなく ハリとつやがあるもの	
保存	生	ヘタが乾燥がしないよう、濡れティッシュをあて ポリ袋に入れて冷蔵庫野菜室で保存
	冷凍	完熟柿であれば、皮を剥いて一口大に切り フリーザーバックに入れて保存
食べ頃	購入後、お好みのやわらかさになったら	
追熟方法	風通しのよい場所で常温で保存	

○甘柿と渋柿の違い

- 熟すと甘い「甘柿」と、渋味があり脱渋が必要な「渋柿」に大別。
渋柿が突然変異して出来たものが甘柿。
種が入ると渋が抜けるため、種の有無は重要。
- 完全渋柿：種が多く入っても、渋が抜けない
不完全渋柿：種周りのみ渋が抜け、他部分は渋が残る。
不完全甘柿より渋抜けしにくい。
- 完全甘柿：種の有無に関わらず、樹上で自然に渋が抜ける
不完全甘柿：種が多く入るとゴマができやすく甘くなる。
種周りのみ渋が抜け、他部分は渋が残る。

○柿は貯蔵可能

渋柿は脱渋するとやわらかくなるため、完全甘柿である「富有」
を貯蔵することが一般的。収穫後、貯蔵に適した実をひとつずつ
真空包装し、冷蔵保存することで年明け2月頃まで出回る。

カキ 柿

カキノキ科

刀根早生（不完全渋柿）

ひらたねなし
平核無（不完全渋柿）

9月中旬～10月下旬

10月中旬～11月下旬



全国で最も多く栽培されている種無し柿。やわらかくジューシー。刀根早生は、奈良で平核無の枝変わりとして発見され見た目・味が似ており、ひとくりに販売されていることも多い。きのかわ紀の川（和歌山）・おけさ（新潟）・庄内（山形）はブランド名。

※紀の川

生育時にアルコールを入れた袋をかけて樹上で脱渋・完熟させることで、甘味が強く、かためで出荷できる。全体にゴマが入るため、「黒あま」とも呼ばれる。



中谷早生（不完全渋柿） 9月

刀根早生の枝変わり種で、10日程生育が早い種無し柿。国内で最も早く収穫でき、露地栽培のスタートを切る。



こうしゅうひゃくめ

甲州百目（完全渋柿） 10月中旬～12月下旬

もんめ百匁（約375g）ほどの大きさであることから「百匁柿」が次第に「百目柿」と呼ばれ、栽培中心が甲府盆地周辺であるため「甲州」がついた。ねっとりとした肉質。

古くから各地で栽培され、蜂屋（福島など）

富士（和歌山・愛媛など）といった様々な呼び方がある。



西村早生（不完全甘柿）

9～10月上旬

「富有」と「赤柿」を自然交雑。露地栽培のスタート品種。果肉は粘りがあり、かため。さっぱりした味。



そうしゅう

早秋（完全甘柿）

9月中旬～10月上旬

でこぼこになりやすく、平たい。果汁が多く、ほどよい甘味。果肉はやわらかめ。日持ち性が高い。



ふでがき

筆柿（不完全甘柿）

9月下旬～11月上旬

筆先のような形から命名。江戸時代から自生しているとちんぼうがきいわれ、別名は「珍宝柿」。小ぶりでかため。8割以上が愛知産。

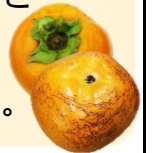


たいしゅう

太秋（完全甘柿）

9月下旬～12月上旬

渋抜け良く果皮が青くても甘い。横筋模様（じょうもん条紋）が入るとより食味が良い。種が少なくサクサク食感。



次郎（完全甘柿）

10月中旬～12月上旬

果肉は歯ごたえがある。種はほぼ無く、甘さは強め。四角ばった形が特徴。原産地では皇室献上品。



ふゆう

富有（完全甘柿）

早生：10月中旬～11月上旬

富有：11月上旬～12月中旬

冷蔵：12月中旬～2月下旬

甘柿の代表種。日持ち性が高い。色が良く、丸形で大ぶり。やわらかく多汁で甘い。

